

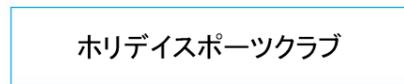
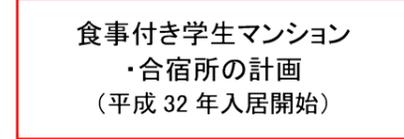
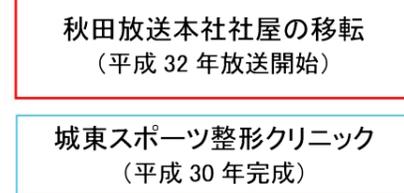
第2回 秋田駅西口駅前広場改修事業検討委員会

検 討 資 料

平成30年11月26日

秋 田 市

1. 秋田駅周辺の整備状況(広域)

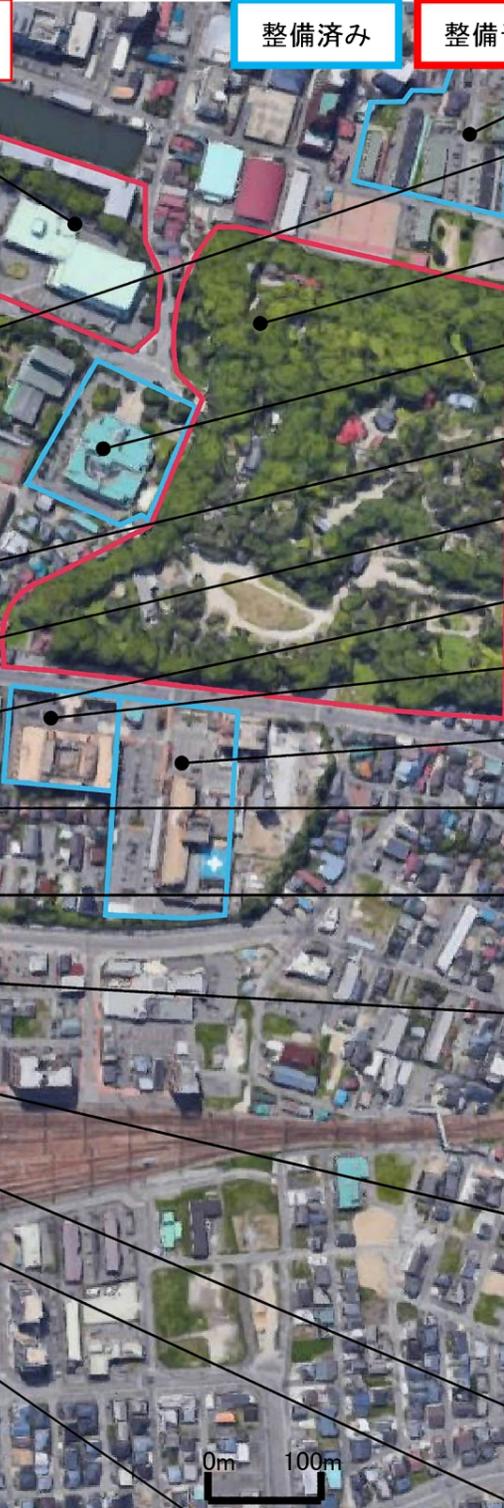
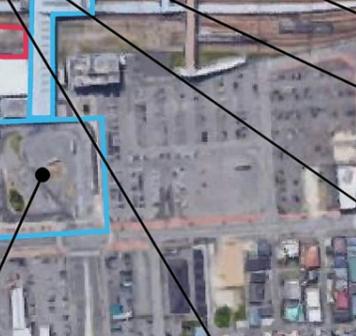


秋田拠点センターアルヴェ
(平成 16 年完成)

NHK 秋田放送
(平成 20 年完成)



県・市連携文化施設に関する
整備計画(平成 33 年度完成)



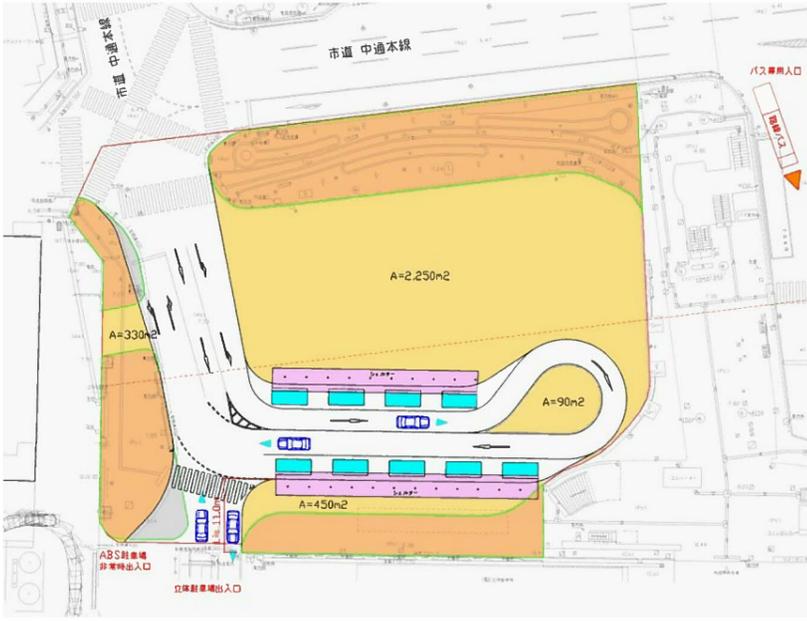
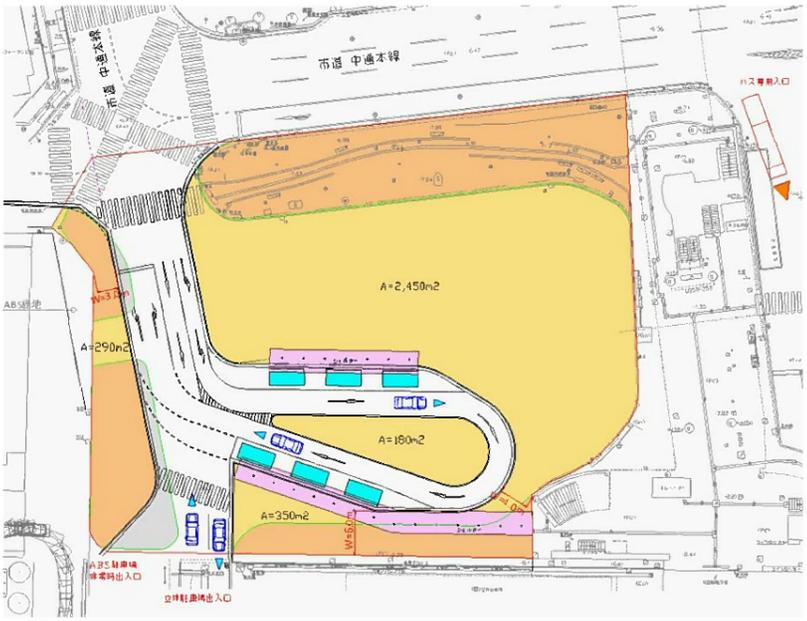
整備済み

整備予定



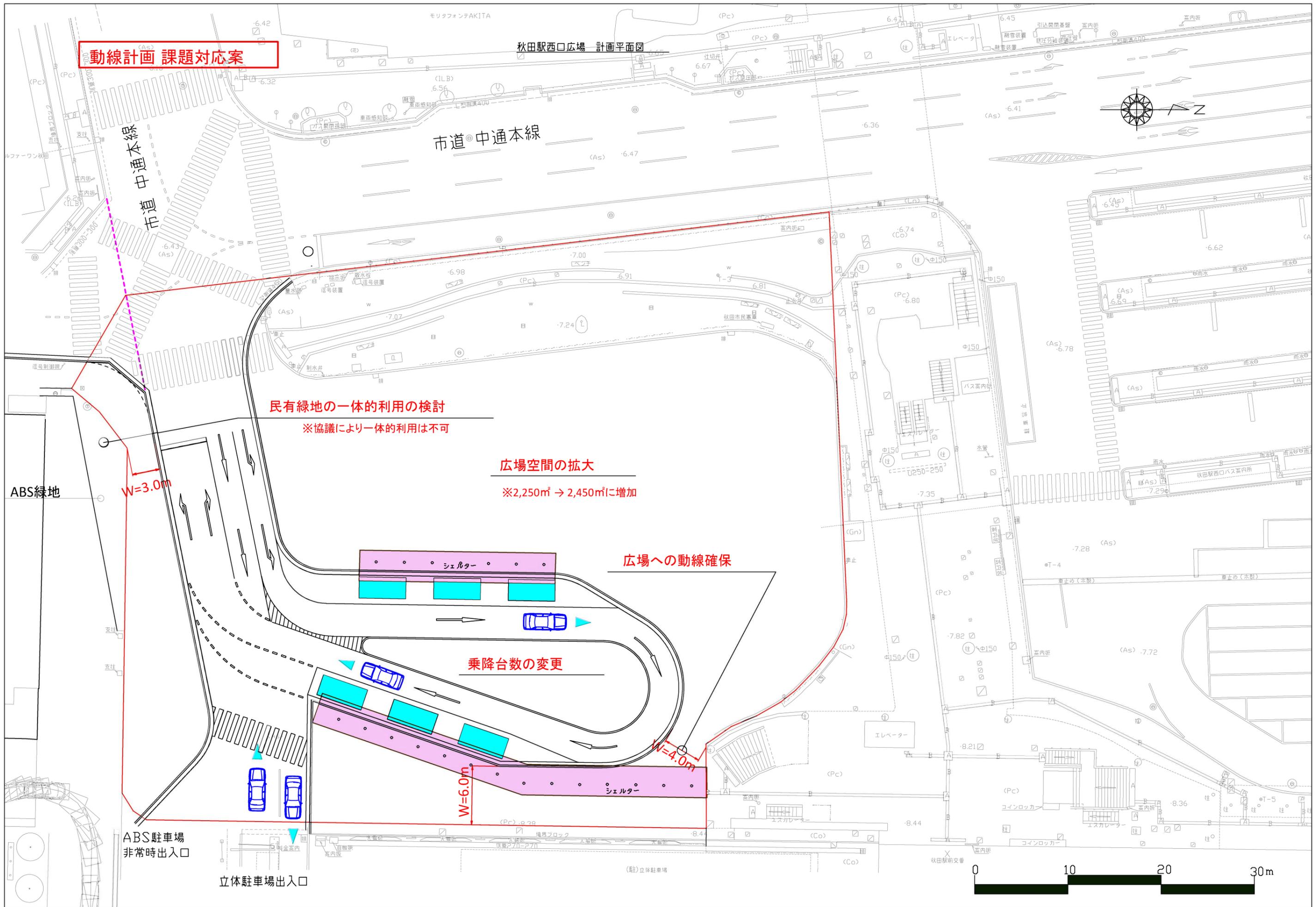
- 県営住宅・県職員住宅
- 県立秋田明徳館高等学校
- 千秋公園再整備基本計画
(平成 30 年～)
- 市立中央図書館明徳館
- 市立千秋美術館
- 秋田版 CCRC 計画
(平成 30 年度～平成 32 年度)
- 秋田市公営駐車場
- 秋田県総合保健センター
- 秋田県立脳血管研究センター
- 西武 秋田店
- 都市計画道路
千秋久保田町線の整備
- 秋田 OPA 改装
(平成 29 年完成)
- 駅西口バスターミナル改修
- 秋田トピコリニューアル
(平成 29 年完成)

2. 動線計画について

	第1回検討委員会 決定案		動線計画課題対応 案		
	乗降場(ロータリー)の出入口を一体とした案		広場面積を増加させ、広場への動線を改善した案		
計画平面図					
	計画方針	・乗降車台数を最大限確保する		・広場面積を大きく確保し、広場への動線を改善させる	
	環境空間	・環境空間面積 A=3,120m²		・環境空間面積 A=3,270m²	
		・環境空間比	$(3,120+3,174)/12,575= 50.1\%$		・環境空間比 $(3,270+3,174)/12,575= 51.3\%$
	(西口南側の既存環境空間面積 A=1,230㎡ 西口全体の既存環境空間比 35.0%)				
	乗降車台数	・広場側 4 台		・広場側 3 台	
		・駅側 5 台	計 9 台	・駅側 3 台	計 6 台
(既存乗降スペース 3台)					
シェルター / 駅側通路幅	・ 2基 L= 37.0m+27.0m=60.0m		・ 2基 L= 43.0m+21.0m=64.0m		
	・駅側通路幅 W=9.0m	・広場側通路 通行不可	・駅側通路幅 W=6.0m	・広場側通路幅 W=4.0m	
(既設シェルター規模 A=75.0㎡ ※平成30年に破損のため撤去済み) / 駅側(背面)通路幅 W=5.6m					
第1回検討委員会決定案における課題	課題の内容		対応策		
・歩道形状の検討	・ABS前の緑地を歩道と一体的に利用できないか検討する。		・関係者との協議により、民有緑地を一体的には利用できない。		
・ロータリー設置の必要性検証	・乗降機能は立体駐車場内のみとして、駅前広場にはロータリーをなくし、広場空間の増大を検討する。		・新幹線発着の駅においてロータリーがない駅は存在せず、送迎等の機能面においてもロータリーは必要であると判断される。		
—	—		・広場空間拡大のためロータリー形状を変更し、それに伴い乗降車台数も変更となる。		

動線計画 課題対応案

秋田駅西口広場 計画平面図



民有緑地の一体的利用の検討
※協議により一体的利用は不可

広場空間の拡大
※2,250㎡ → 2,450㎡に増加

広場への動線確保

乗降台数の変更

W=3.0m

W=6.0m

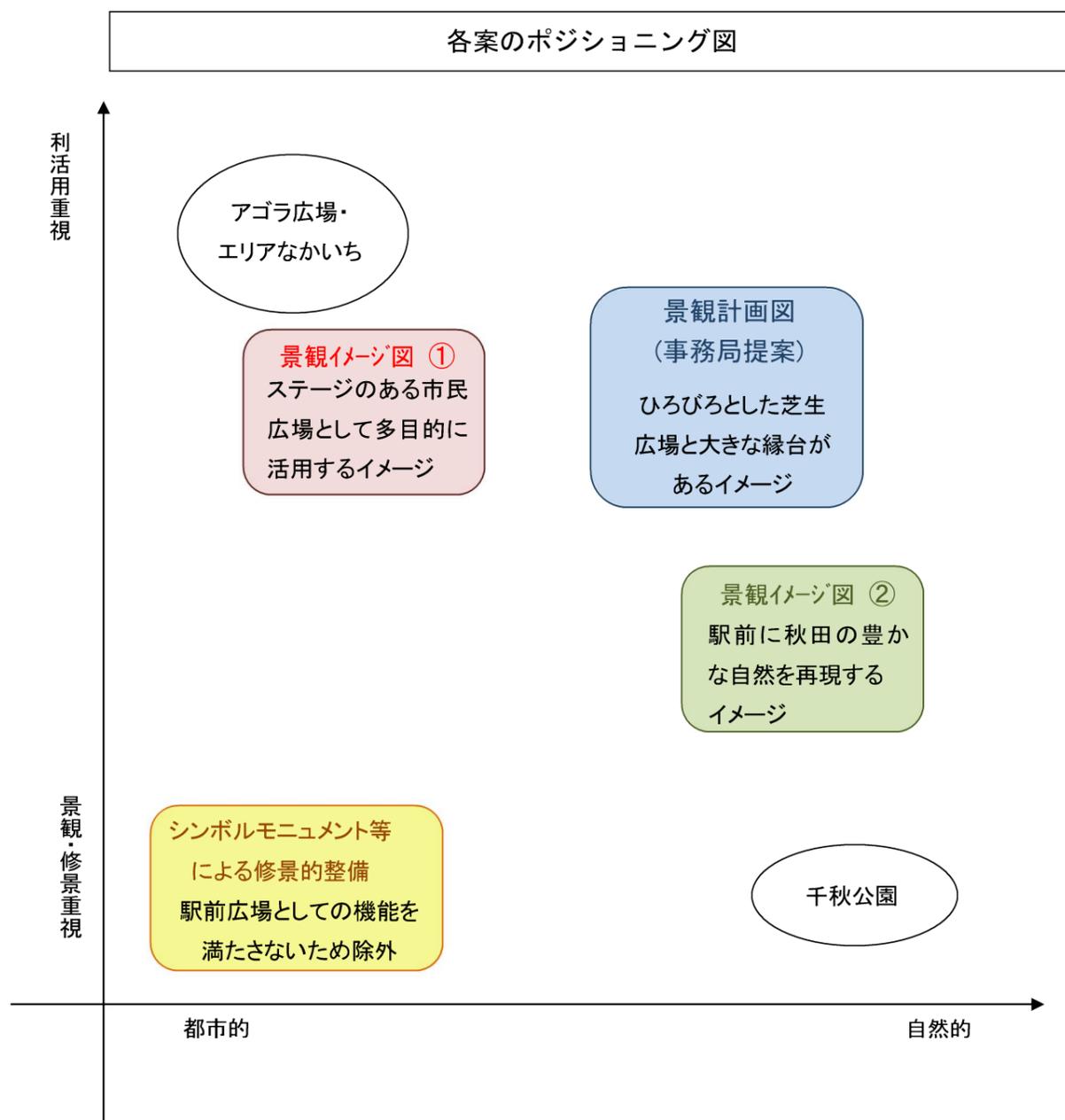
W=4.0m

ABS駐車場
非常時出入口

立体駐車場出入口

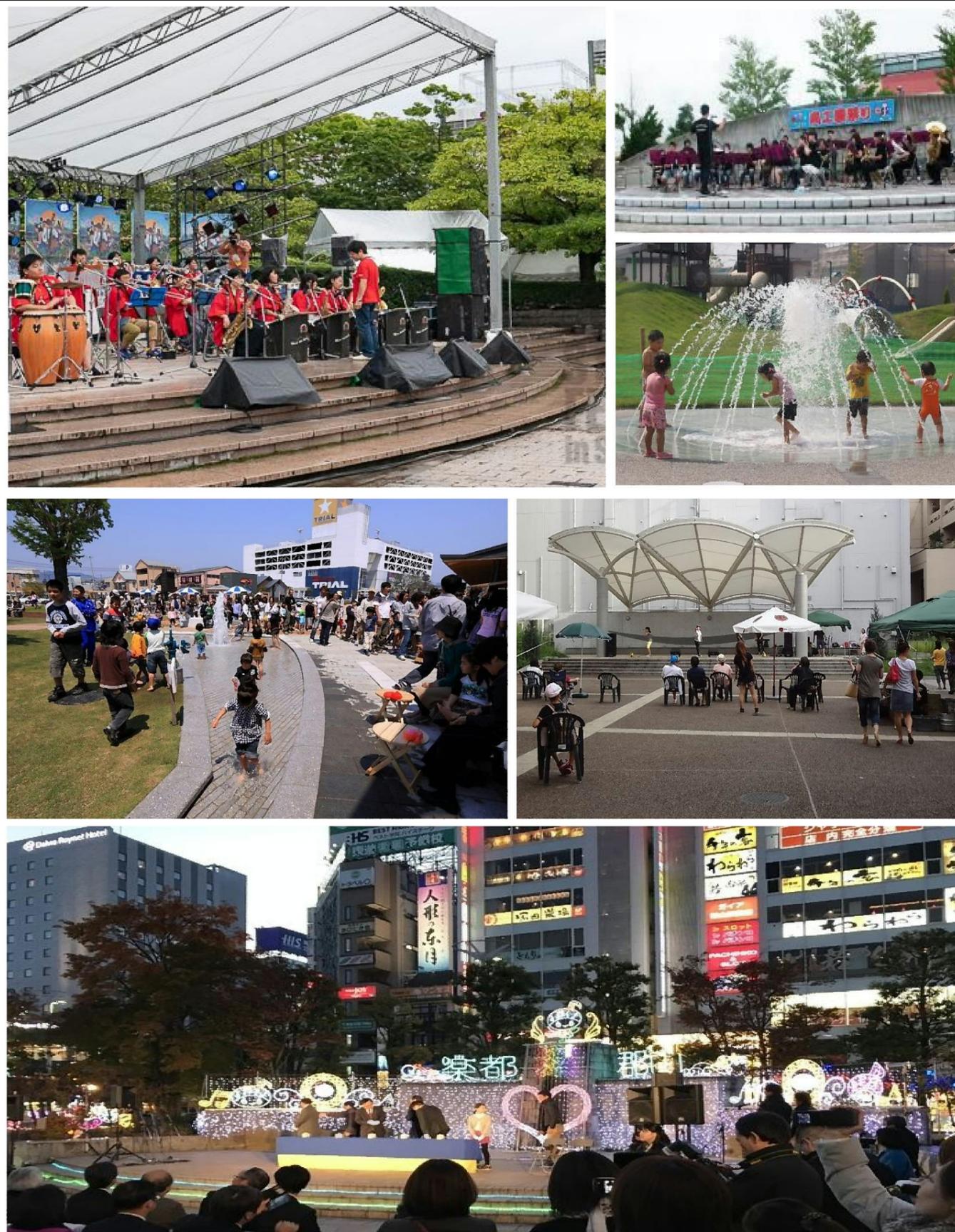
(駐)立体駐車場

3. 環境空間の整備方針検討



4. 各計画図における整備イメージ写真

景観イメージ図① ステージのある市民広場として多目的に活用するイメージ写真



景観イメージ図② 駅前に秋田の豊かな自然を再現するイメージ写真



景観計画図 ひろびろとした芝生広場と大きな縁台があるイメージ



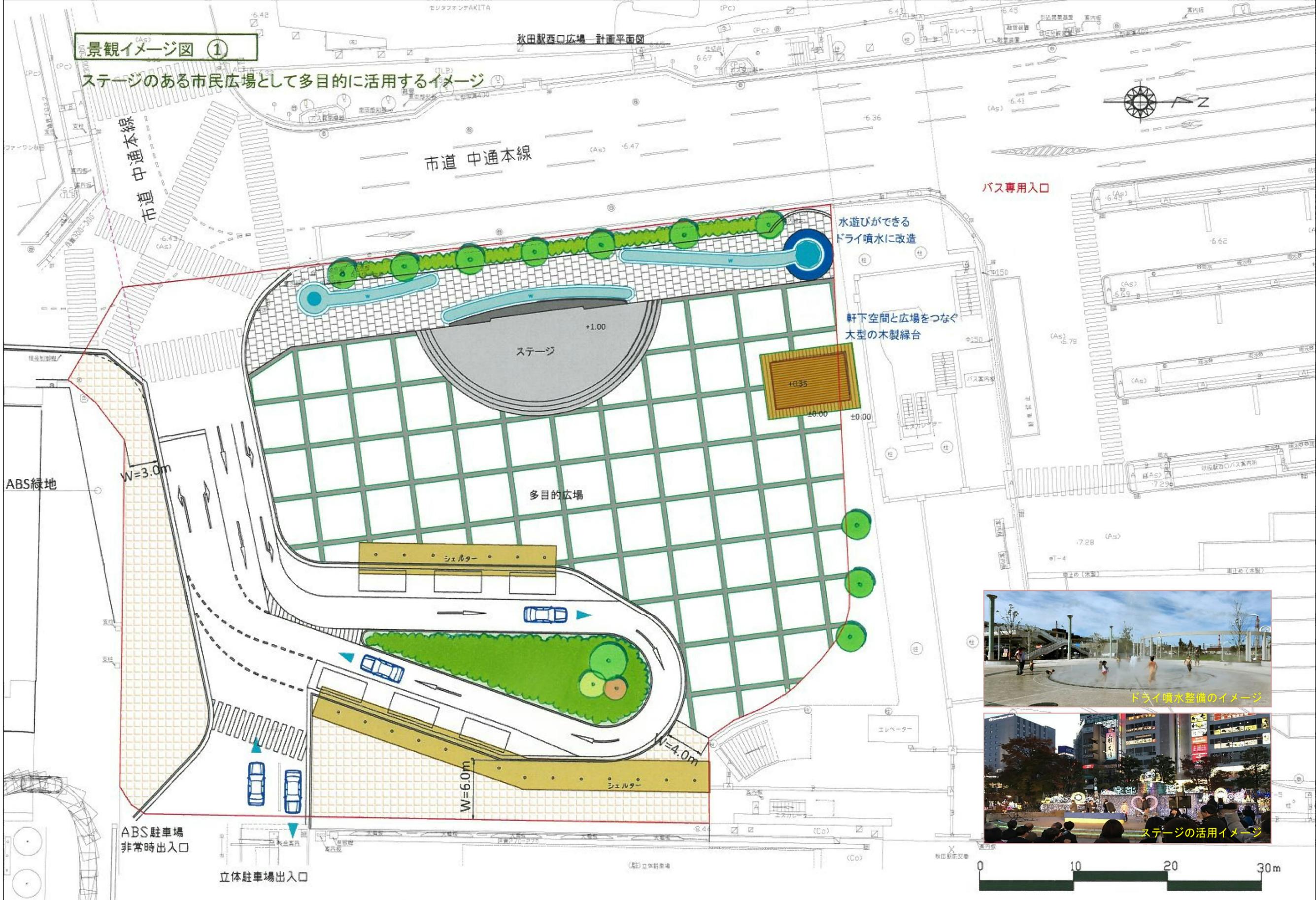
5. 環境空間の計画

	景観イメージ図 ① ステージのある市民広場として 多目的に活用するイメージ	景観イメージ図 ② 駅前に豊かな秋田の 自然を再現するイメージ	景観計画図 のびのびとつろげる芝生広場と 大きな縁台がある空間のイメージ
各案共通目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「県都の顔」にふさわしい環境整備を行う ・自然環境に配慮し、秋田らしい空間を創出する ・維持管理に留意し長きにわたり愛される空間を整備する 		
計画方針	<ul style="list-style-type: none"> ・人の集まるイベント空間を創出し、にぎわいを演出 ・雨や雪の日においても、利便性の高い整備 <p style="text-align: center;">(都市的×活用重視)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境空間として緑量を重視 ・秋田の豊かな自然を在来樹種の植栽で再現 <p style="text-align: center;">(自然的×景観重視)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・のびのびとつろげるオープンスペースの創出 ・ぼぼろ一どの軒下空間と広場を一体的に活用できる連続性のある整備 <p style="text-align: center;">(自然的×活用重視)</p>
活用イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・市民広場として各種イベントの開催 ・水景施設を一部改造し、水遊びのできる空間に変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・散策や休憩、駅舎2階部分等からの修景 ・景観性を重視 	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生広場や縁台での休憩や遊び ・軒下空間と一体性を持ったマルシェ等の開催
主な施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージ ・水景施設は流末部をフラット噴水に改造 	<ul style="list-style-type: none"> ・石積みの擁壁 ・水景施設は循環ユニットを活用し、ビオトープ空間として再整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・木製の大型縁台 ・アンジュレーション(ゆるやかな起伏)をもった芝生広場
舗装計画	<ul style="list-style-type: none"> ・平板舗装やインターロッキングブロック舗装 	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生舗装+地被類による植栽 	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生舗装+グリッド状のインターロッキング舗装
植栽計画	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の街路樹(ケヤキ)を活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規に在来樹種の植栽(ブナ・スギ・カツラ・ヤマザクラ等) ・ササ類によるグランドカバー 	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生 ・既存の街路樹を活用
整備費用	<ul style="list-style-type: none"> ・インターロッキングブロック等、舗装費用が主な整備費用 ・水景施設(噴水)の改造に費用が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・高木を中心とした植栽費用が主な整備費用 ・水景施設(ビオトープ化)の改造に費用が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生舗装が主な整備費用 ・木製の大型縁台等の整備費用が必要
維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理費は他案に比べ安価 ・水景施設の維持管理費は必要となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽の剪定や落ち葉対策が必要 ・ビオトープは定常的な維持管理対策が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・芝刈りや施肥等の維持管理が必要
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣にアゴラ広場やエリアなかいち等の類似空間が存在する 	<ul style="list-style-type: none"> ・野鳥による鳥害(フンや騒音等)への対策が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天時や降雪時のぬかるみ対策が必要

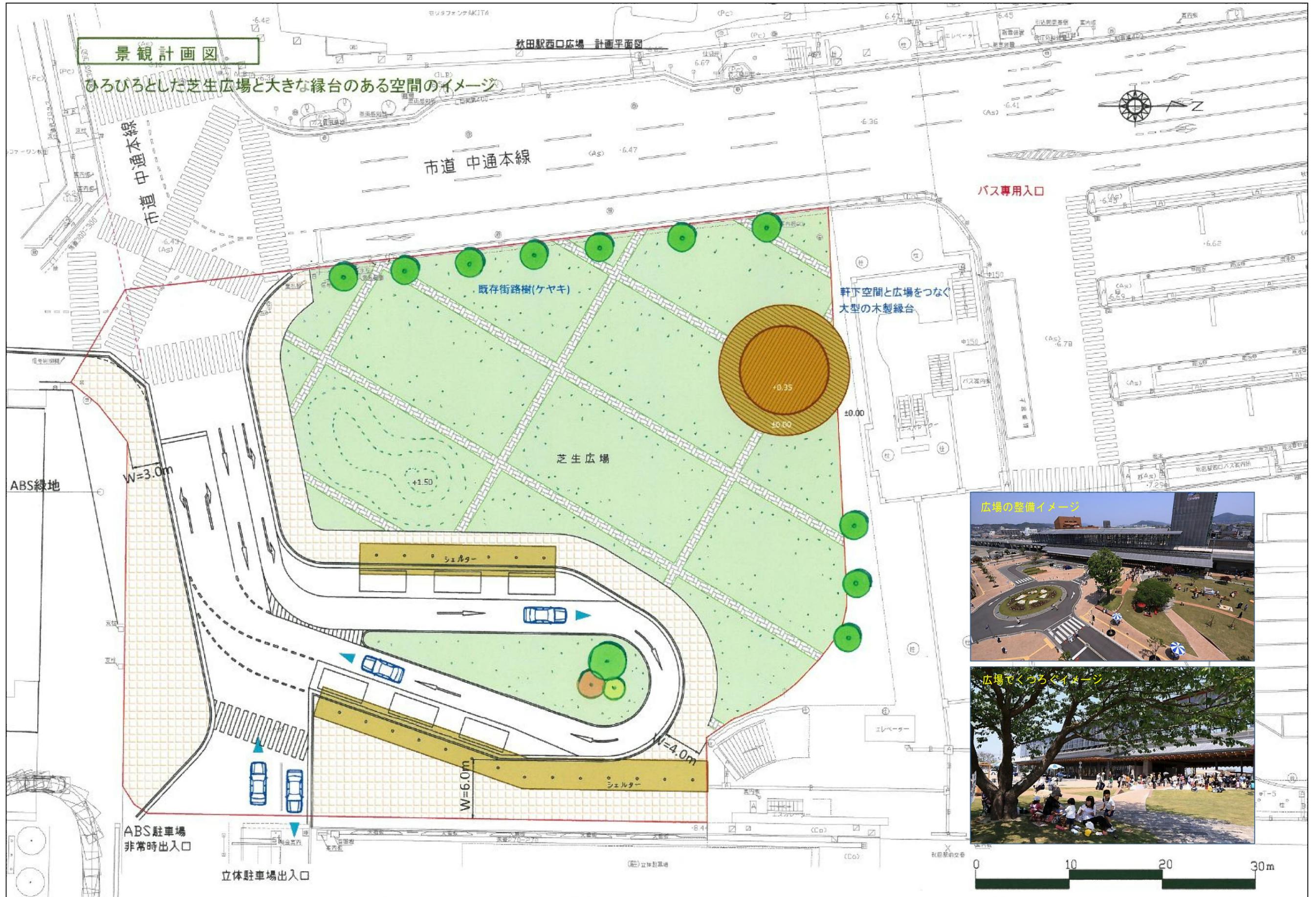
景観イメージ図 ①

ステージのある市民広場として多目的に活用するイメージ

秋田駅西口広場 計画平面図

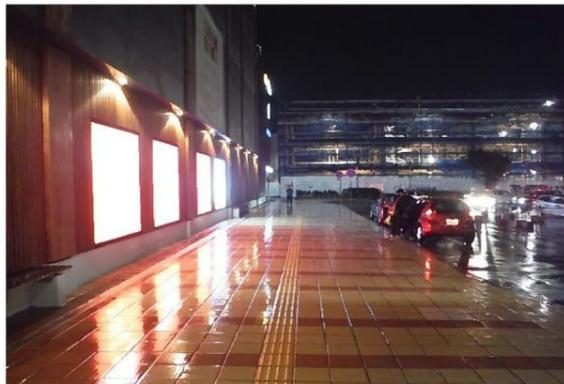






6. 秋田駅の夜間景観

秋田駅西口の夜間景観



秋田駅構内の夜間景観

